

第10回くらしノバージョンフォーラム

今どきの「子育て・共働き家族」の暮らし

夫の家事・育児への関わりと価値観



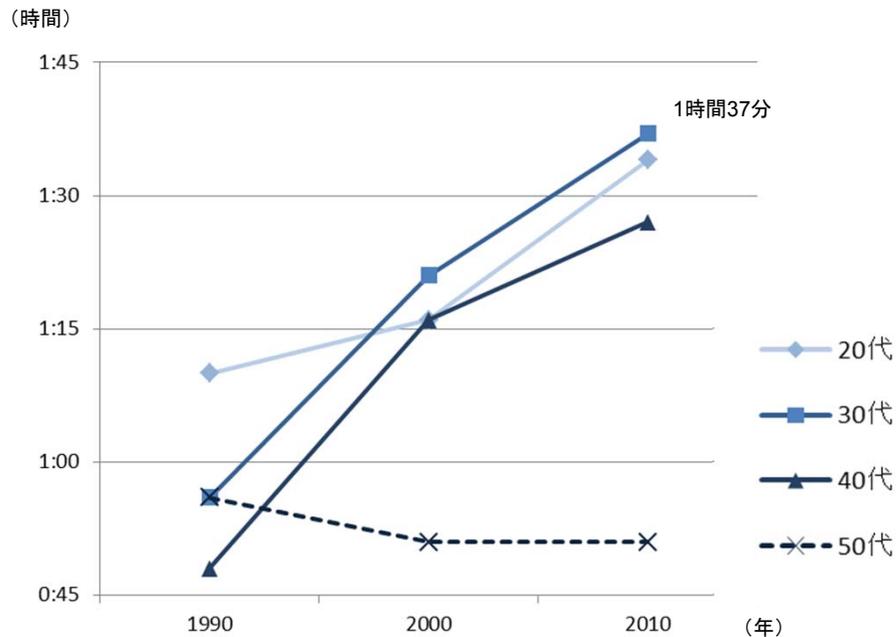
くらしノバージョン研究所 伊藤 香織

2013.2.13

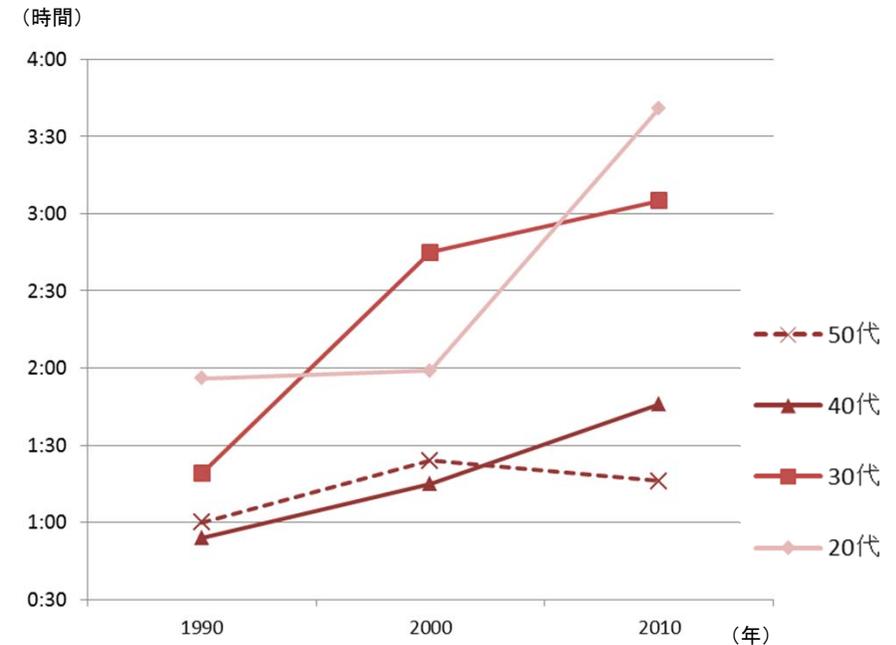
社会背景：育児時間の変化

男性が育児に費やす時間は急増（特に30代）

勤め人の男性が
平日に「子どもの世話*1」に費やす時間
※平日に「子どもの世話」をしている人のみの平均



勤め人の女性が
平日に「子どもの世話」に費やす時間
※平日に「子どもの世話」をしている人のみの平均



※NHK「生活時間調査」より

- ・調査対象：全国10歳以上の国民 住民基本台帳から層化無作為2段抽出 2010年度の回答者数(率) 4,905人(68.1%)
- ・上記グラフは「勤め人(女性・男性)」のクロス集計データをもとに作成

*1 子どもの世話：授乳、子どもの相手、勉強をみる、送り迎えなど

本報告の概要

家事・育児 の実態

子育て家族における

夫の家事・育児への関わり方の実態・価値観を
明らかにする

■分析軸

- ・1989年調査 ⇔ 2012年調査
- ・フルタイム家族 ⇔ 専業主婦家族

事例紹介

入居宅訪問調査の事例を通し、

夫の家事・育児への関わり方の具体例を見る

- ・フルタイム家族 2事例

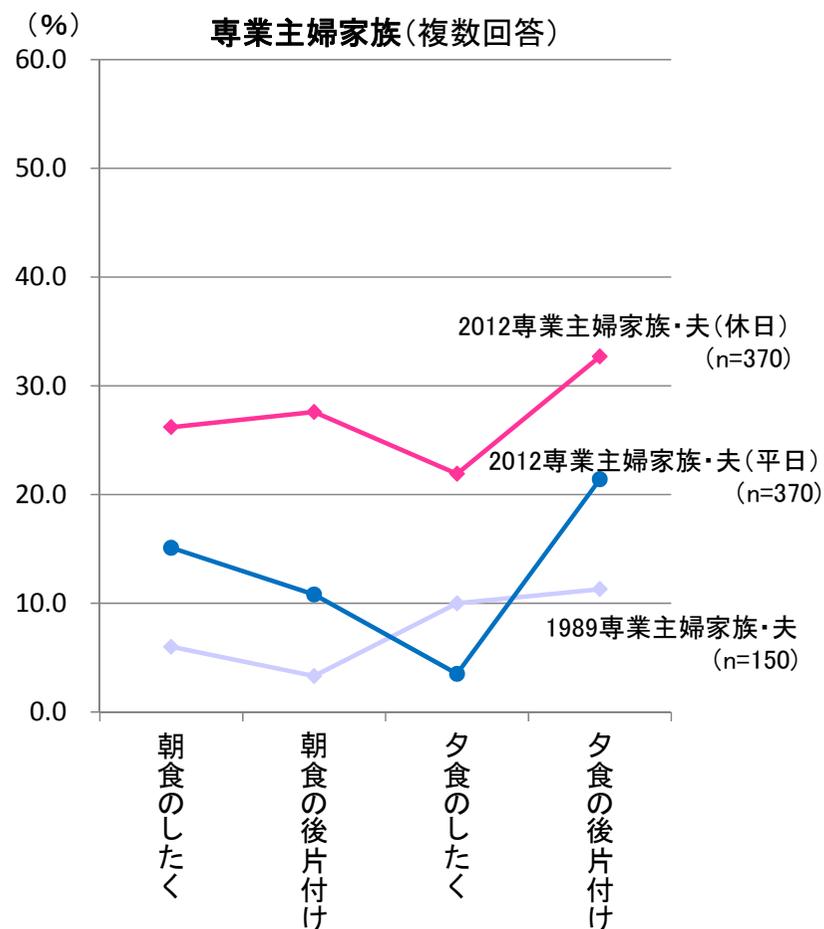
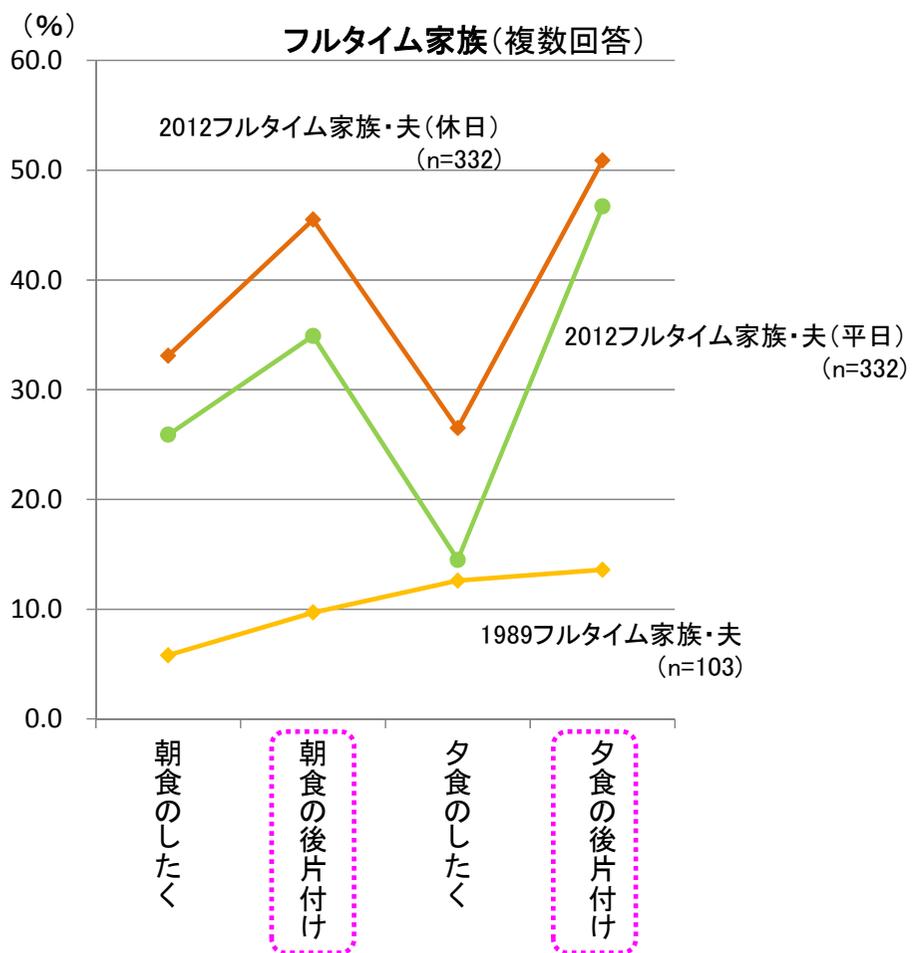
調査概要：母集団の特徴

* 両調査とも、共働き家族研究所で実施

	1989年調査	2012年調査
調査名	共働き家族・専業主婦家族 比較調査	子育て期共働き家族・専業主婦家族 調査
調査対象	<ul style="list-style-type: none"> ・単世帯 ・主婦(フルタイム、パートタイム、専業)とその夫 ・* 40代～50代が中心 	<ul style="list-style-type: none"> ・単世帯 ・30-44歳の夫 または妻(フルタイム、専業) ・小学生以下の子どもが1人以上いる ・ヘーベリアンネット会員 および 一般モニター
調査方法	留置式調査	web調査
主な調査項目	<ul style="list-style-type: none"> ・家事の分担状況(調理、洗濯、掃除) ・就労理由 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・家事(調理、洗濯、掃除)・育児の分担状況 ・家庭生活や仕事に関する意識 <p style="text-align: right;">など</p>
回収数	<p>347世帯</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルタイム家族 103 (夫婦とも会社員中心) ・専業主婦家族 150 ・パートタイム家族 94 	<p>702件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フルタイム家族 332 (夫婦とも会社員中心) ・専業主婦家族 370

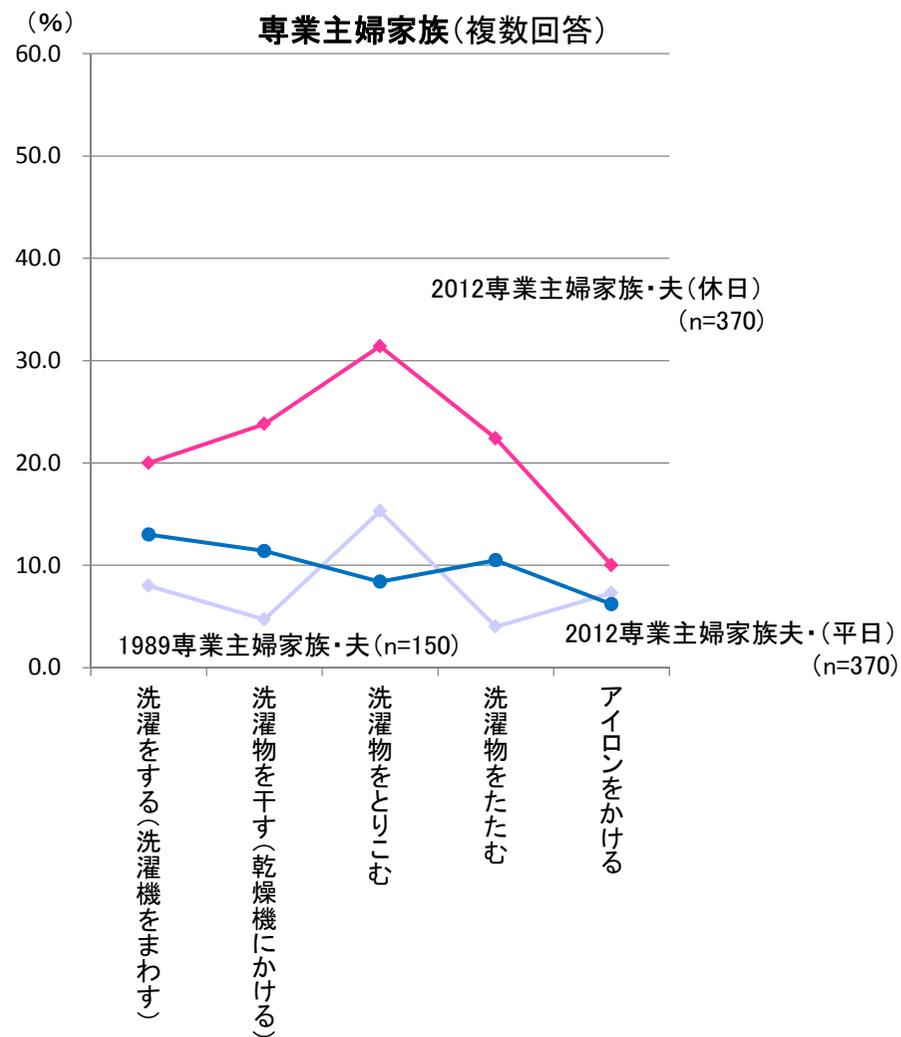
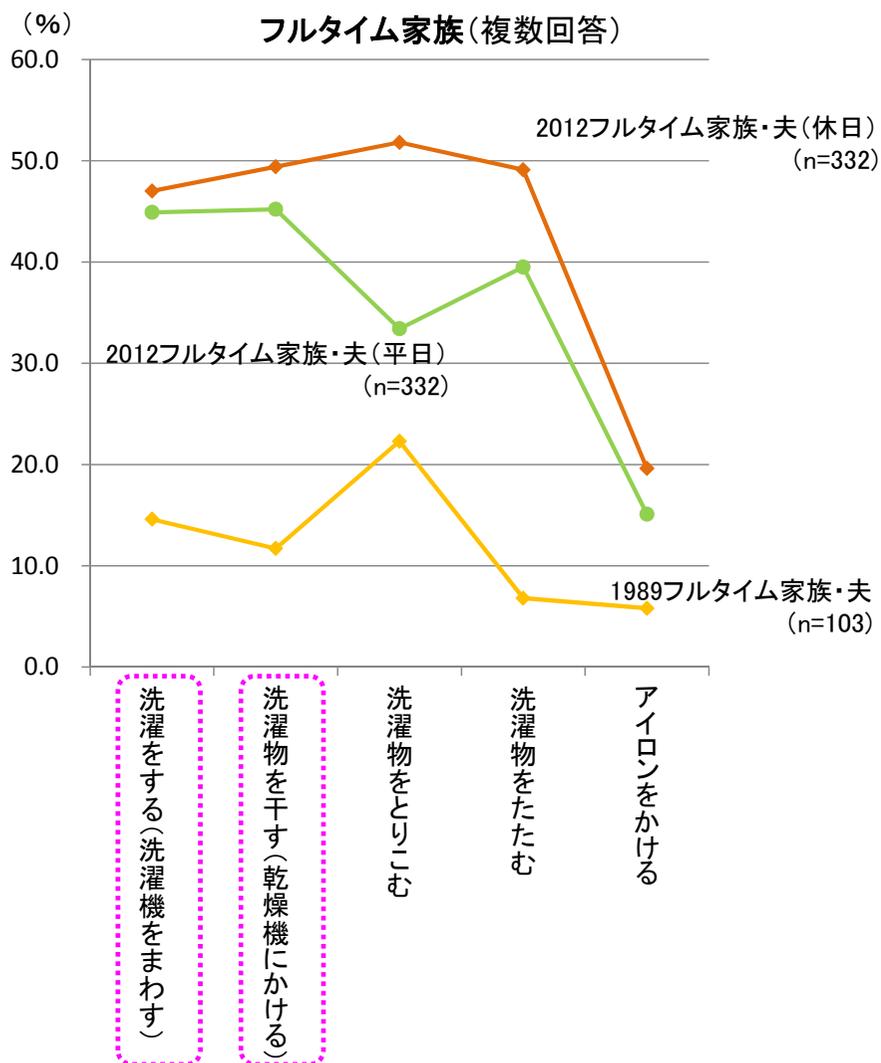
1989年：フルタイム家族・専業主婦家族問わず関わり低い
2012年：フルタイム家族で劇的に進む夫の家事関与

・今、フルタイム家族の夫は、休日だと朝食や夕食の後片付けを4～5割がする



洗濯も調理と同様の傾向

・今、フルタイム家族の夫だと平日・休日とも洗濯をする・洗濯物を干すを5割弱がする

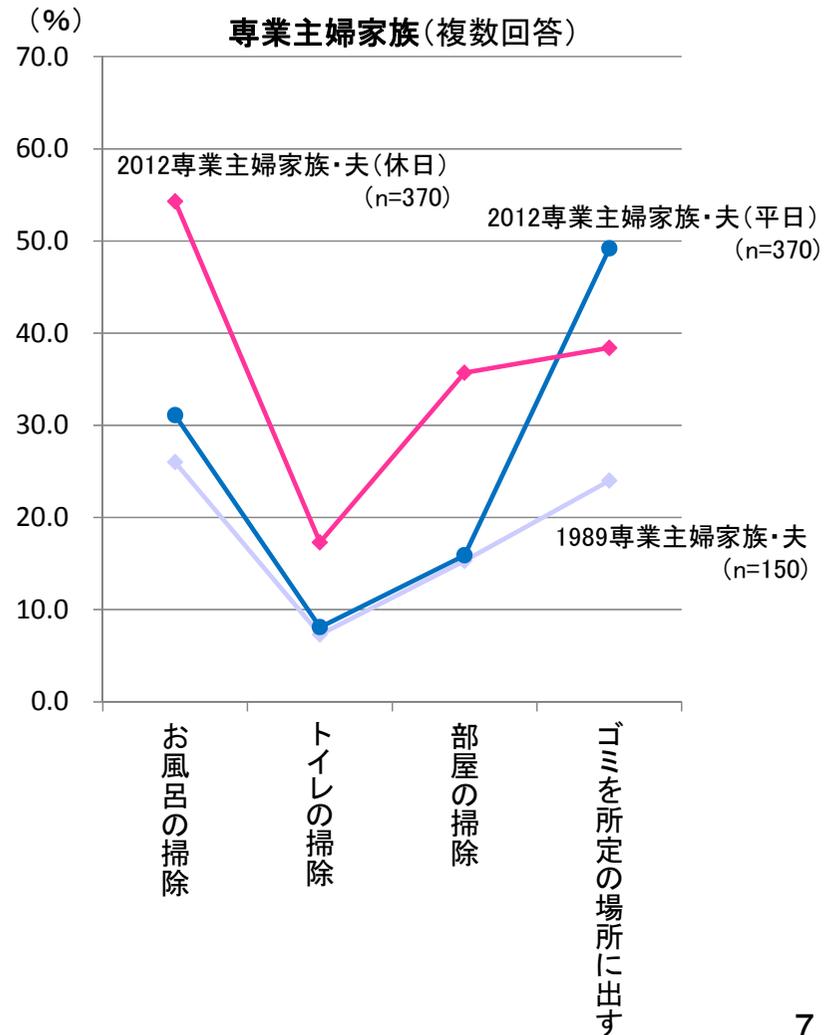
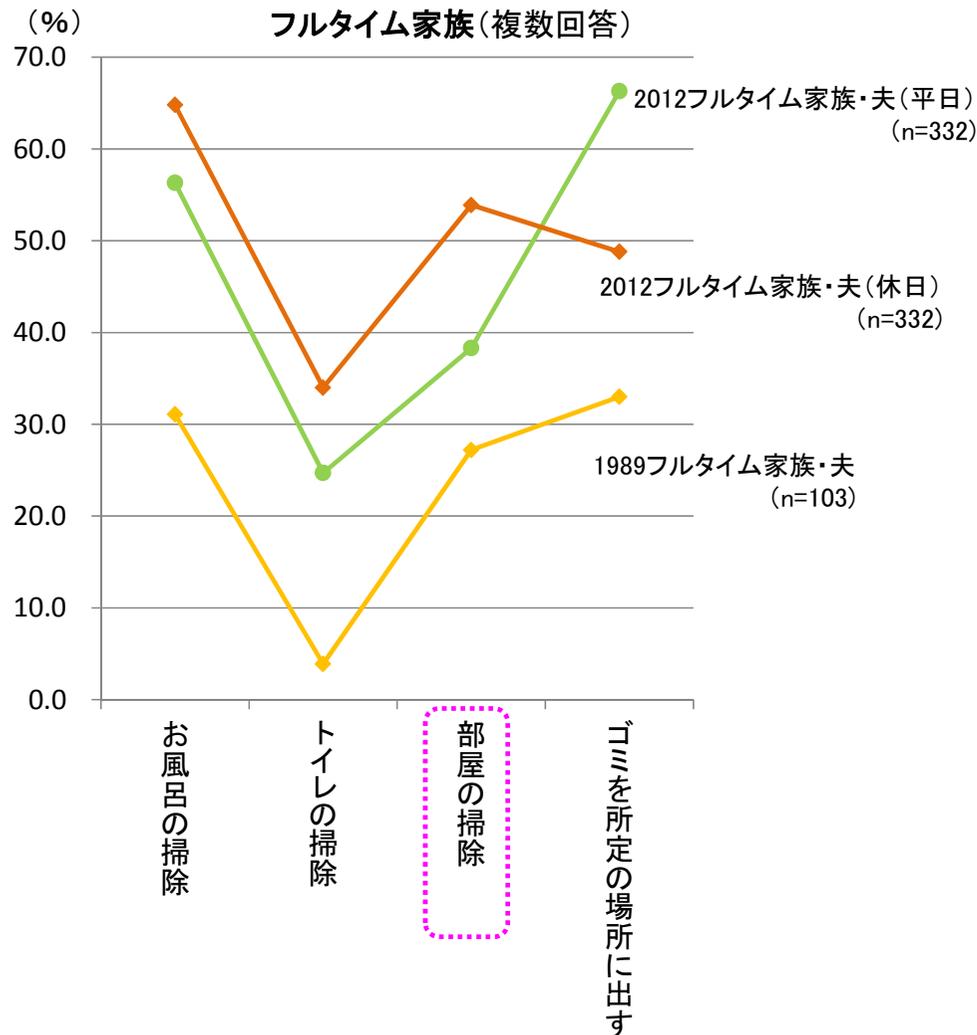


夫の家事・育児への関与：掃除

(1989年・2012年比較)

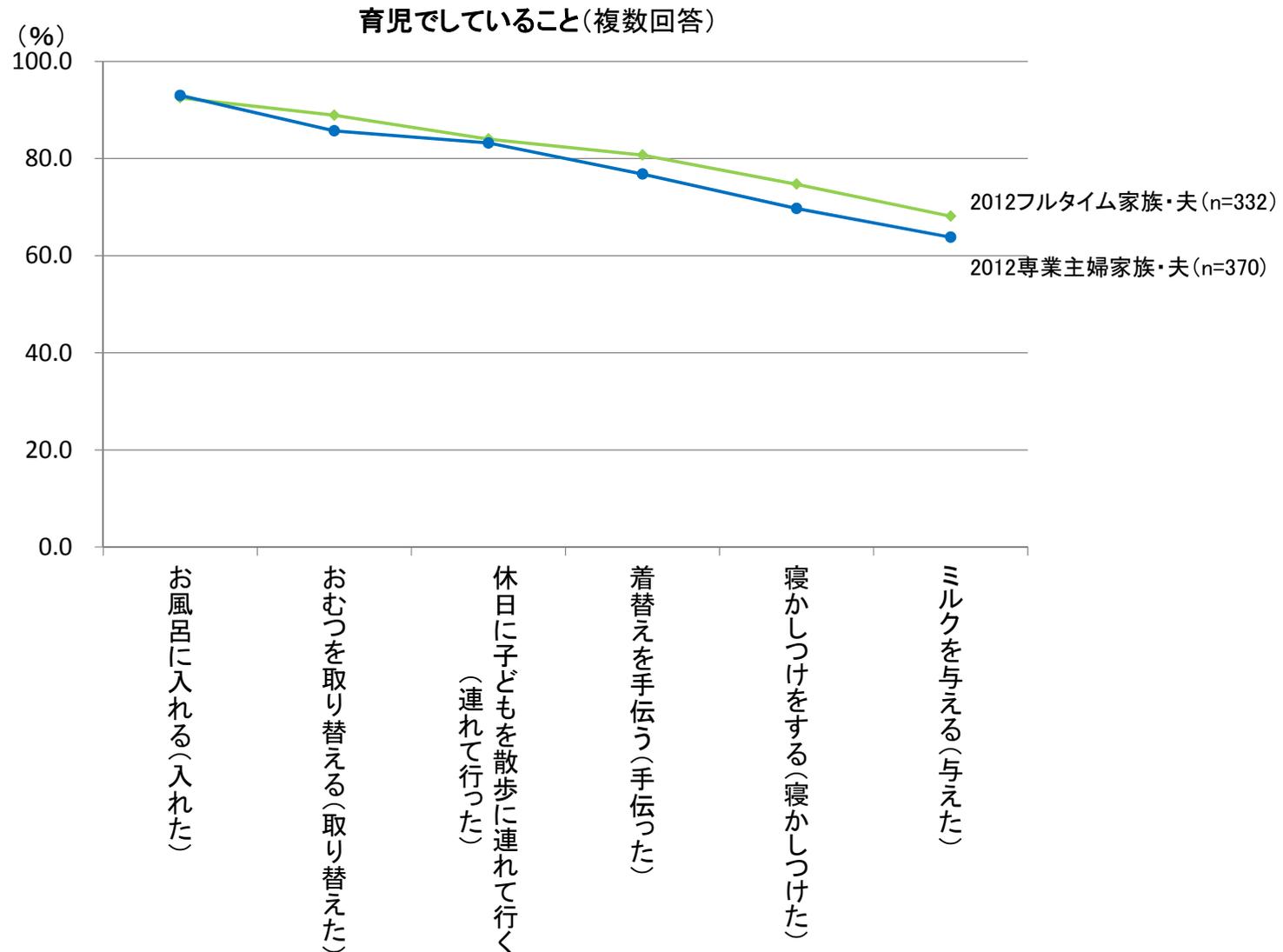
1989年：掃除関連は、お風呂掃除・ゴミ出しには関与があった
2012年：さらに進む掃除への関与（特にフルタイム家族）

・フルタイム家族では、部屋の掃除も、平日・休日に夫がしている



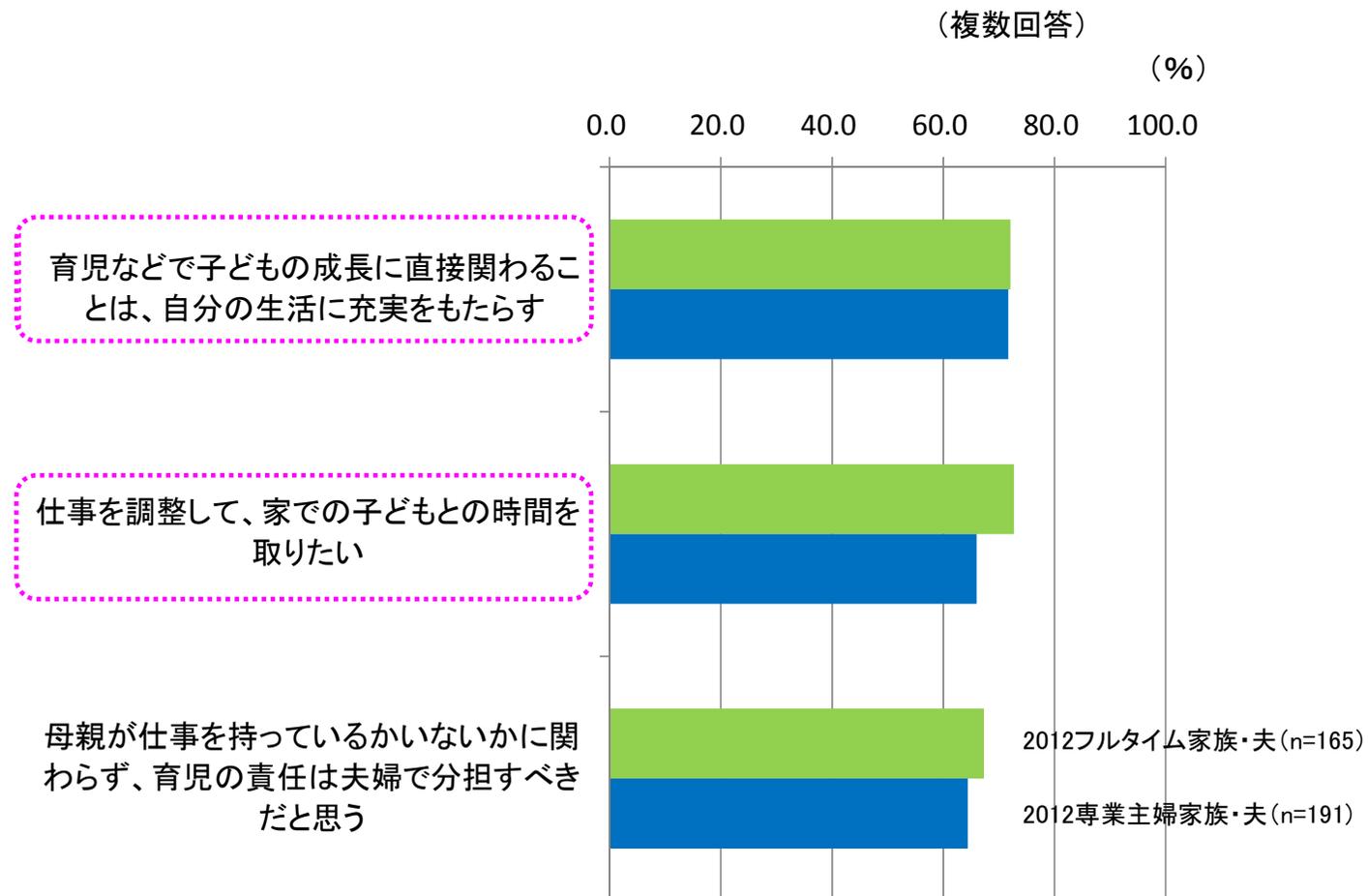
家庭での育児に対する夫の関与は当たり前

- ・妻の就業形態とは関係なく、子どもの入浴・おむつ取り替え・休日遊びは多くがしている



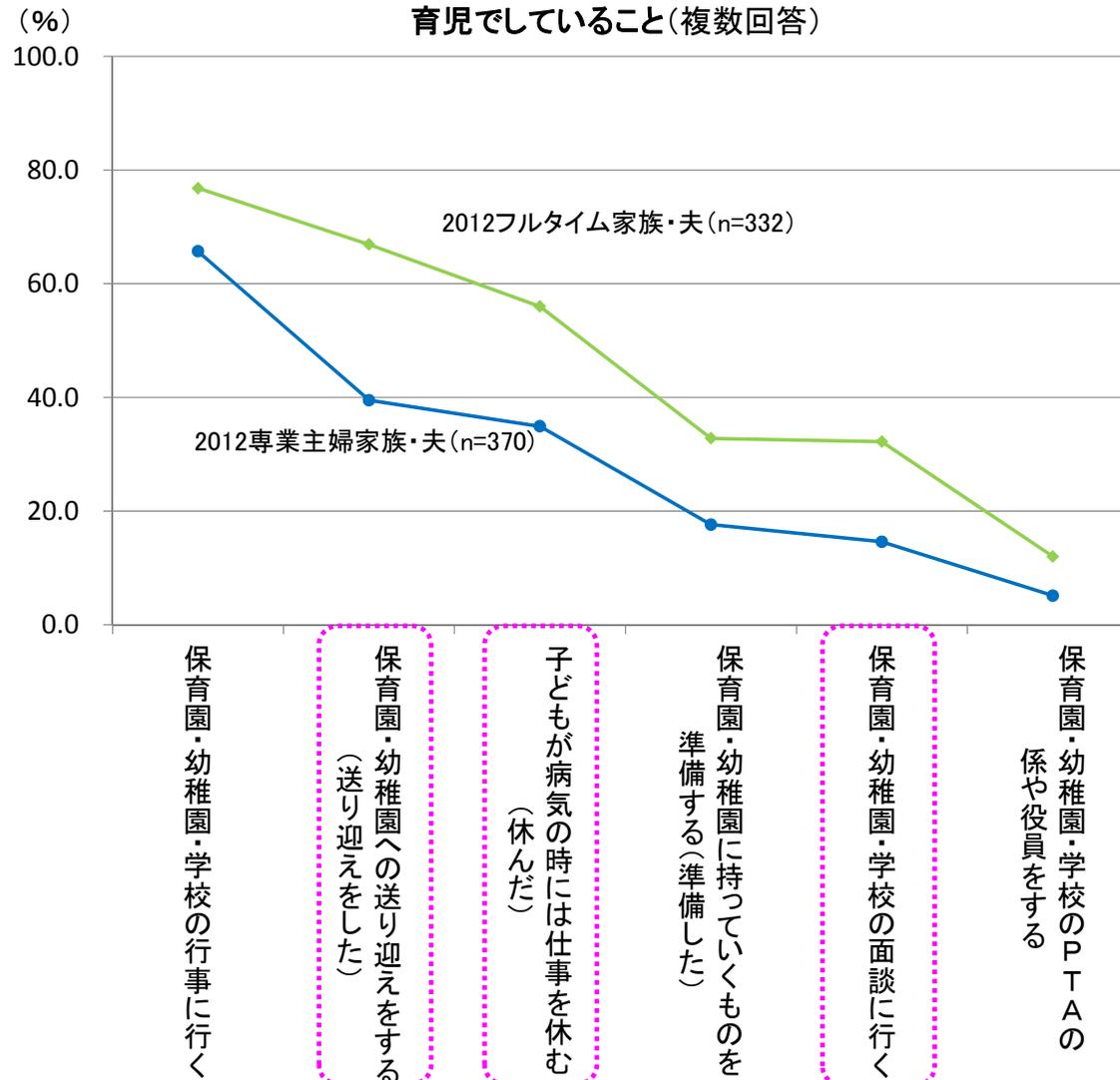
家庭での育児の場面から得られる充実感・そのための時間調整意識

・育児の醍醐味を「直接」楽しむ夫達



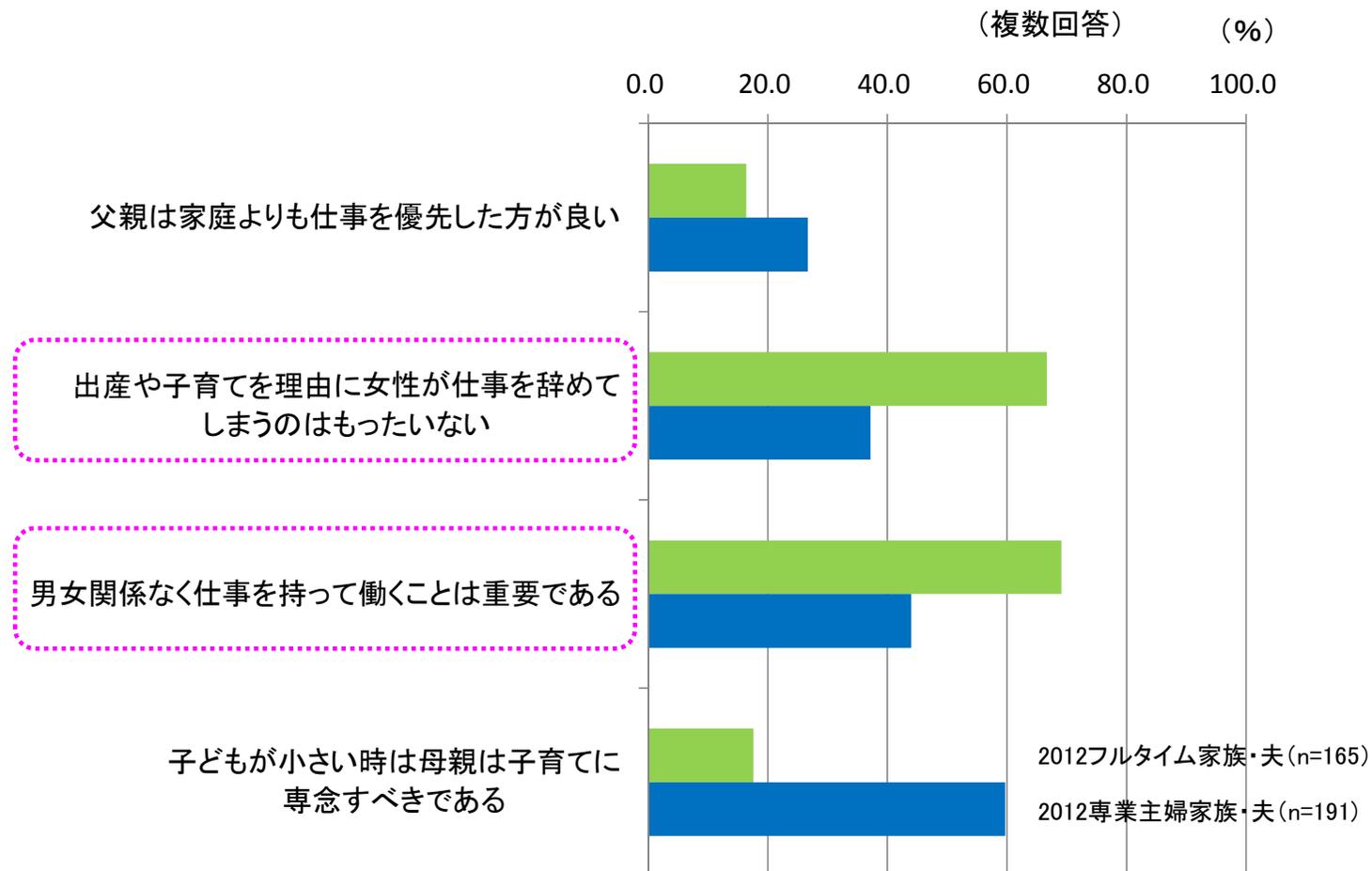
育児には、夫側にも仕事の調整ごとが必要な場面が生じる

- ・フルタイム家族の夫は、保育園の送り迎えや子どもの病気時への対応、面談など保育園・学校といったことにも関与している(ちょっと面倒を見るのとは質が異なる)



女性の就業継続に肯定的なフルタイム家族の夫

・その分夫も育児のために仕事の調整し、夫婦でやりくりをする



夫の家事・育児への関与:25年の変化のまとめ

この25年で、大きく変わったのは フルタイム家族の夫の家事・育児への関与

1989年	<ul style="list-style-type: none">・40代中心の子育てが一段落したライフステージ →育児という視点なし・夫の家事関与は「お風呂掃除」「ゴミ出し」程度の簡単な家事であり、調理や洗濯への関与はなし
2012年	<ul style="list-style-type: none">・30代中心の未就学児や小学生を抱えたライフステージ・家事・育児を並行でまわさないといけないため、夫の関与が必須 →簡単な家事に点で関わるのではなく、 調理・洗濯を含めた家事全体および育児に線で関わる・背景の価値観として、女性も働いた方が良いという意識が強い

専業主婦家族の夫は、昔より今の方が家事の関与度は上がってるが、フルタイム家族の夫には及ばない

今の30代フルタイム家族の夫が自然に家事・育児を楽しむ様子とは？

A氏

家事・育児がルーティーン化している夫

- 休日は妻と入れ違いのため、1人でこなす
- 夫が使うという視点で夫婦一緒に選んだキッチン

B氏

休日中心に家事をする夫

- 休日が夫婦一緒、家事は得意分野で役割分担
夫は買い物・料理・風呂掃除、妻は洗濯・掃除
- 子どもとの料理をイメージしたキッチン

「今、ワークライフバランスが取れている。どれも全力でやれば楽しい」

家族構成	<ul style="list-style-type: none">・夫 33歳（営業職：日月休み）・妻 32歳（営業職：火水休み）・長男 2歳 <p>・夫・妻の実家とも遠居。妻の勤務先を考慮して場所を選んだ（守谷市）</p>
夫がする家事	<ul style="list-style-type: none">・平日は、基本洗濯・食器洗い・ゴミ出しを担当。洗濯物をたたむ・しまうは夫婦で半々。・休日は、これに料理が加わる。・特に料理が好き。酒の肴を考えるのが楽しい。・洗濯は、保育園があるため、まわさないといけない感覚だが、最近は洗濯物をたたんでいると、子どもがお手伝いしてくれる。・実家にいた頃（中学位）から、休みの昼ごはんは自分で作っていた。・大学～結婚まで1人暮らしをしていたので、洗濯・掃除・（たまに）料理をしていた。・結婚後～特に役割分担なし。できることを、できる方がやっていた。

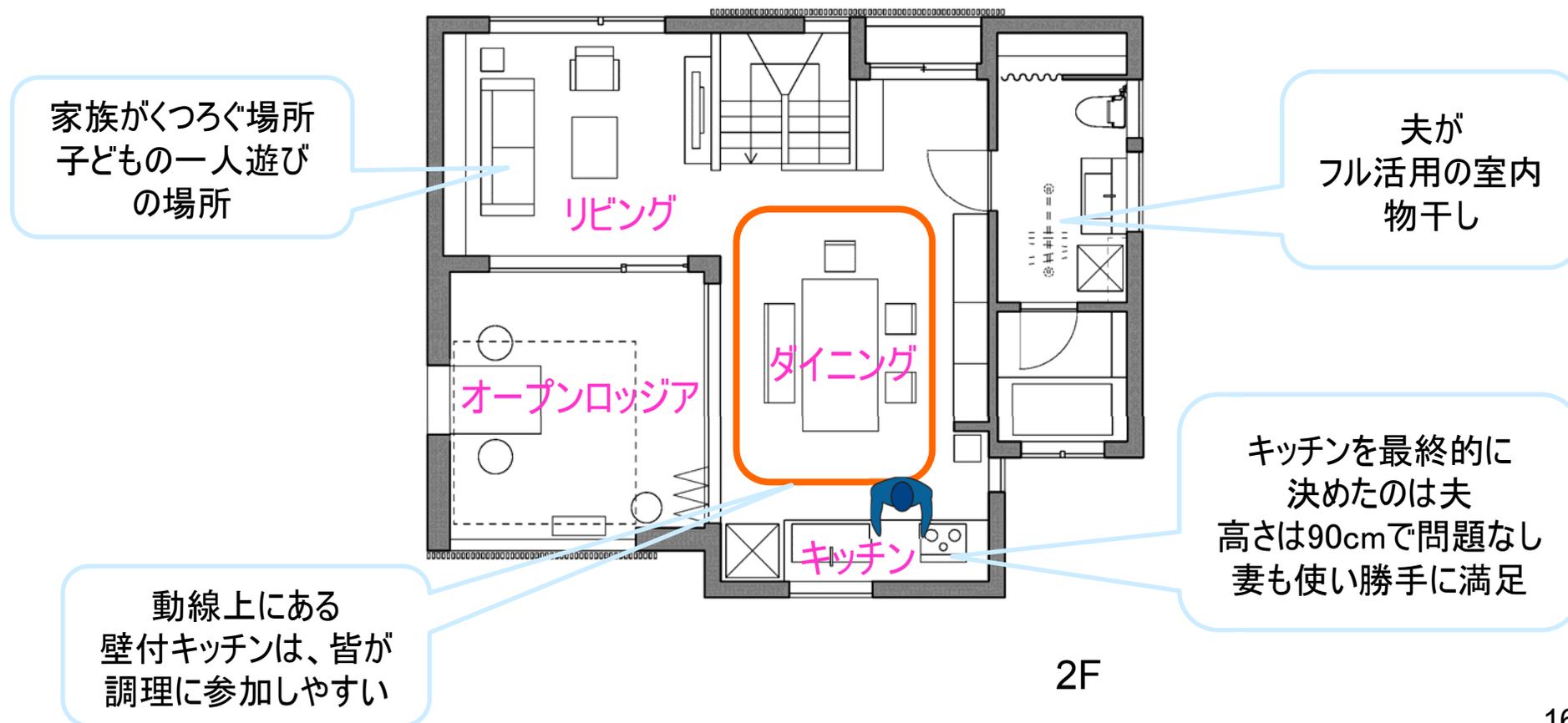
「今、ワークライフバランスが取れている。どれも全力でやれば楽しい」

夫の育児	<ul style="list-style-type: none">・平日はあまり子どもとの時間は取れないが、休日はたっぷり父子で過ごす。・子どもがなついてくれているので、日々楽しい。・何をしても楽しく、全然苦ではない。
共働きというライフスタイル	<ul style="list-style-type: none">・女性も労働力として大事なので、働くべき。・男も女も、お互いに仕事・家庭をことをそれぞれやった方が良い。仕事と家庭、どちらが偉いというものでもないし、どちらも大したことではない。 →男女がフラットで、横並びの価値観を持つ
妻のコメント	<ul style="list-style-type: none">・母が働いていることもあり、自分が専業主婦になるイメージがない。働くのは自然なこと。今の夫に出会い「働いて良いんだ」と思った。・夫が家事・育児をしてくれることは、すごく助かる。

「今、ワークライフバランスが取れている。どれも全力でやれば楽しい」

■プランの特徴 (38坪)

- ・2Fリビング+サニタリープランなので、ワンフロアで一通りの家事ができる
- ・壁付けキッチン+ダイニングを選んだのは、ダイナミックでかっこいい空間にしたかったから
→対面キッチンのように遮られないので、子どもも自然に料理に参加してくる



「家事は苦にならない。料理は大事な子どもとのコミュニケーション手段」

家族構成	<ul style="list-style-type: none">・夫 35歳(事務職:火水休み)・妻 35歳(事務職:火水休み)・長女 小1・長男 3歳 <p>・妻の実家・勤務先・保育園・小学校・駅を考慮して場所を決めた(藤沢市)</p>
夫がする家事	<ul style="list-style-type: none">・平日は仕事で家事をする時間がほとんどない。・その分、休日は食材の買い出し・料理全般(平日分の作り置き)をし、あとは風呂掃除をする。・中学・高校で、家事全般をしていた。・大学～結婚まで1人暮らし。・結婚後、子どもが生まれる前は、仕事が多忙で家事をしなかった。

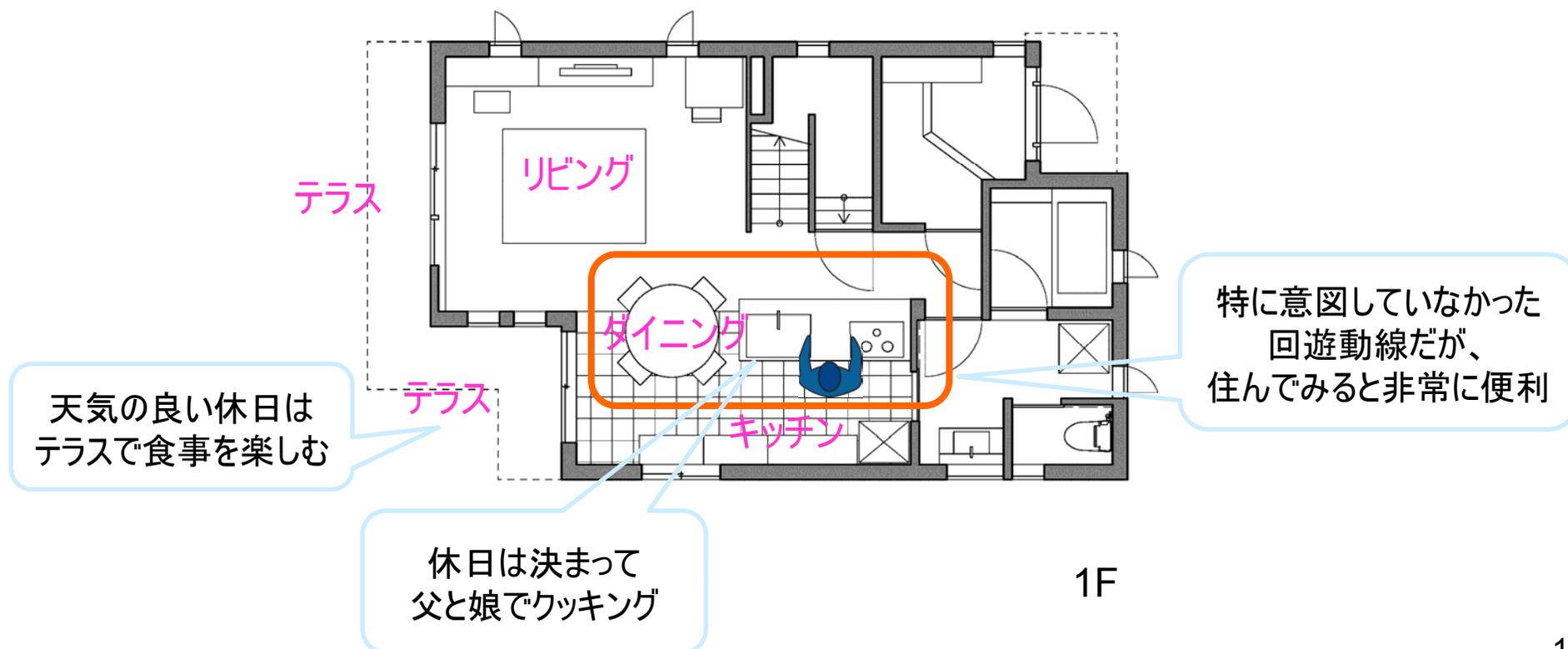
「家事は苦にならない。料理は大事な子どもとのコミュニケーション手段」

夫の育児	<ul style="list-style-type: none">・休日は、子ども(長女)を巻き込み、義務感でなく楽しんで家事＋育児をしている。・昔は趣味で居合道に通っていたが、子どもが生まれてからはやめてしまった。今は子どもが優先。
共働きというライフスタイル	<ul style="list-style-type: none">・経済面からも、妻にできれば働いて欲しい。・細かいことを気にしていると共働きはやっていけない。お互い心のゆとりが必要。
妻のコメント	<ul style="list-style-type: none">・自分は料理よりは掃除が好きなので、ちょうど役割分担できている。・お互いやれることをやる。おおらかに構えることがコツで、細かいことをあまり気にしない性格が良いのかも。夫婦で家事・育児に対するスタンスが似てる。

「家事は苦にならない。料理は大事な子どもとのコミュニケーション手段」

■プランの特徴 (32坪)

- ・キッチンを中心に、ダイニング・洗面所が回遊できるプラン
 →子どもが生まれてくる前に家を計画したが、その時、夫がイメージしたのは、「将来子どもと一緒に料理できると良いな」ということ
 →そのプランで、今は夫と長女と一緒に料理をする



今後の課題

■ 25年の変化とその要因 に関する分析を進める

- ・ 夫の家事・育児への関与
- ・ 妻の家事・育児への関与

- ・ 経済力(家計費分担率)
- ・ 夫婦の就寝(別寝)

- ・ 夫婦それぞれの生き立ち
- ・ 両家の親との関係

- ・ 家族コミュニケーション(親子、夫婦、1人)